

平成 28 年 6 月 1 日

「^{しゅん か しゅうじつ}春花秋実」

校長通信 7 号 長田 芳子

中間考査も終了し、1 学期の半分か過ぎました。平成 28 年度最初の校長通信です。4 月から環境も変化し、慌ただしい毎日が続く中、やっと一息つけた頃でしょうか？運動部の東信大会も終了し、柔道部が県大会への出場権を得ました。他のクラブもまだ各種大会への出場もあり、運動部のみでなく文化部の活動も活発です。部活動に入っていない生徒も是非、部活動に参加してみたいかがでしょう。同級生だけでなく、部活動での先輩、後輩、顧問の先生に学ぶことも高校生活の中でとても大切な事だと私自身の経験から実感しています。技術向上だけでなく、自分を鍛える機会にして欲しいと思います。

さて、「春花秋実」は校長室の席の真正面に掲げられている元長野県知事西澤権一郎筆の書からつけました。（昨年もお伝えしましたが。）校長室にはその他に初代校長保科百助先生の貴重な鉾物標本、織物標本なども置かれています。又、本校の体育館には渡辺国武子爵（長野県出身、第二次伊藤博文内閣の蔵相）筆の扁額も掲げられております。この扁額も保科百助先生が渡辺国武子爵に依頼し、大正 11 年の講堂落成式にお披露目されたとのこと。標本や扁額をご覧になりたいと本校を訪れる方々もいらっしゃる程、保科百助先生のご功績は現在にも受け継がれています。「五無齋保科百助」とも呼ばれ、由来は先生の詠んだ傑作の狂歌からきているそうです。「おあしなし、草履なしには歩けなし、おまけなしとはおなさけもなし」無しが五つで「五無齋」だそうです。

今後も少しずつではありますが、学校内の出来事、蓼科高校、立科町などの話題をお伝えしていく校長通信にしていきたいと思います。よろしくお願い致します。



保科百助先生



体育館に掲げられている扁額